

2026年度 第1四半期 決算説明資料

2026.7.23

四半期決算 概要



(単位:百万円)	FY2026	FY2025	QoQ		FY2025	YoY	
	1Q	4Q	差額	(%)	1Q	差額	(%)
売上高	114,308	133,060	-18,753	-14.1%	89,914	24,393	27.1%
売上総利益	81,543	94,402	-12,859	-13.6%	61,261	20,282	33.1%
GP率	71.3%	70.9%	0.4p	-	68.1%	3.2p	-
販売管理費	32,509	35,625	-3,116	-8.7%	26,780	5,729	21.4%
営業利益	49,033	58,777	-9,744	-16.6%	34,480	14,554	42.2%
経常利益	48,441	58,484	-10,043	-17.2%	33,999	14,442	42.5%
経常利益率	42.4%	44.0%	-1.6p	-	37.8%	4.6p	-
税前提利益	48,410	58,437	-10,027	-17.2%	33,652	14,758	43.9%
純利益	34,221	42,881	-8,660	-20.2%	23,767	10,455	44.0%

売上高: YoY 機械装置の検収進捗および消耗品出荷堅調により増収
 GP率: YoY 為替影響および高付加価値製品等により収益性向上
 販売管理費: YoY 人件費や研究開発費が増加

DISCO CORPORATION

2

© 2025 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

4-6月期の決算概要です。売上高は機械装置の検収進捗に加え、消耗品出荷が堅調だったことから高い水準となり、4-6月期としては過去最高を記録しました。

なお、売上高は顧客の設備投資意欲と直接の連動性は低く、装置の検収状況に左右されやすいため、顧客の投資意欲をはかる上では「出荷額」の推移をご参照ください。

※2019年度(2019年4月～)より会計方針の変更により、装置売上は、顧客の検収をもって計上する「検収ベース」へと移行しております。

4-6月期業績概要

売上高: 1,143億円

GP率: 71.3%

販管費: 325億円

営業利益: 490億円

為替レート

当四半期 4-6月期 USD:160.4円 EUR:186.0円

前四半期 1-3月期 USD:156.5円 EUR:183.5円

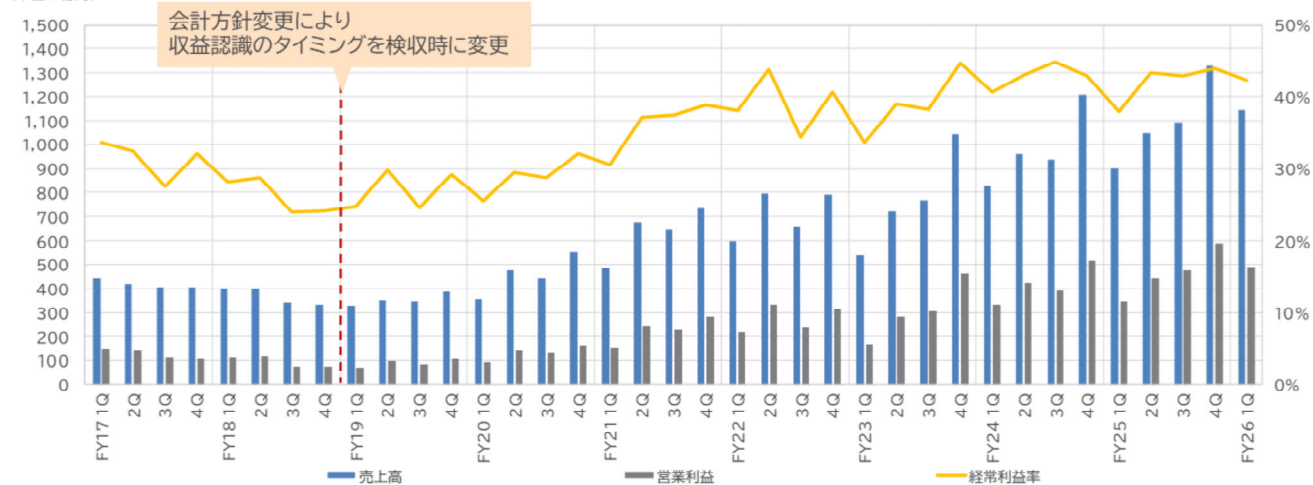
前年同期 4-6月期 USD:144.1円 EUR:165.5円

※各種データは、当社Webサイト上「補足情報」(Excelファイル)に掲載

業績 四半期推移



(単位：億円)



FY26_1Q 営業利益率42.9% 経常利益率42.4% 純利益率29.9%

※数値推移は、Webサイト「補足情報」に記載

DISCO CORPORATION

3

© 2025 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

四半期別の業績推移です。

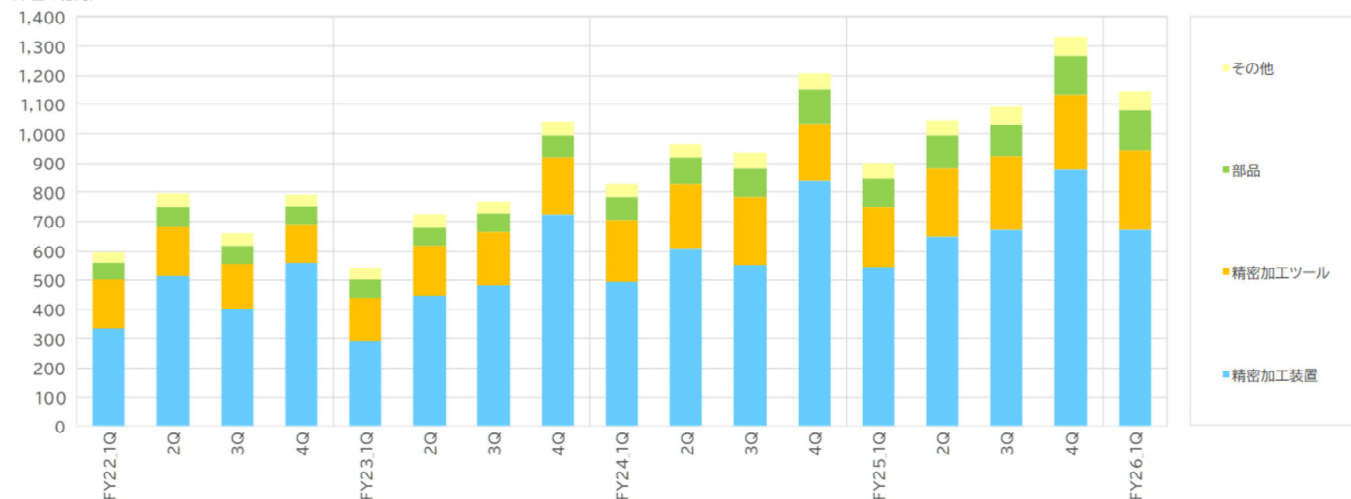
詳細については、当社Webサイト上に「補足情報」(Excelファイル)を掲載しておりますので、あわせてご参照ください。

製品群別売上高 四半期推移

検収



(単位：億円)



※構成比数値は、Webサイト「補足情報」に記載

DISCO CORPORATION

© 2025 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

製品別の売上高推移です。

詳細な構成比については、当社Webサイト「補足情報」(Excelファイル)をご参照ください。

※2019年度(2019年4月～)より会計方針の変更により、装置売上は顧客の検収をもって計上する「検収ベース」へと移行しております。

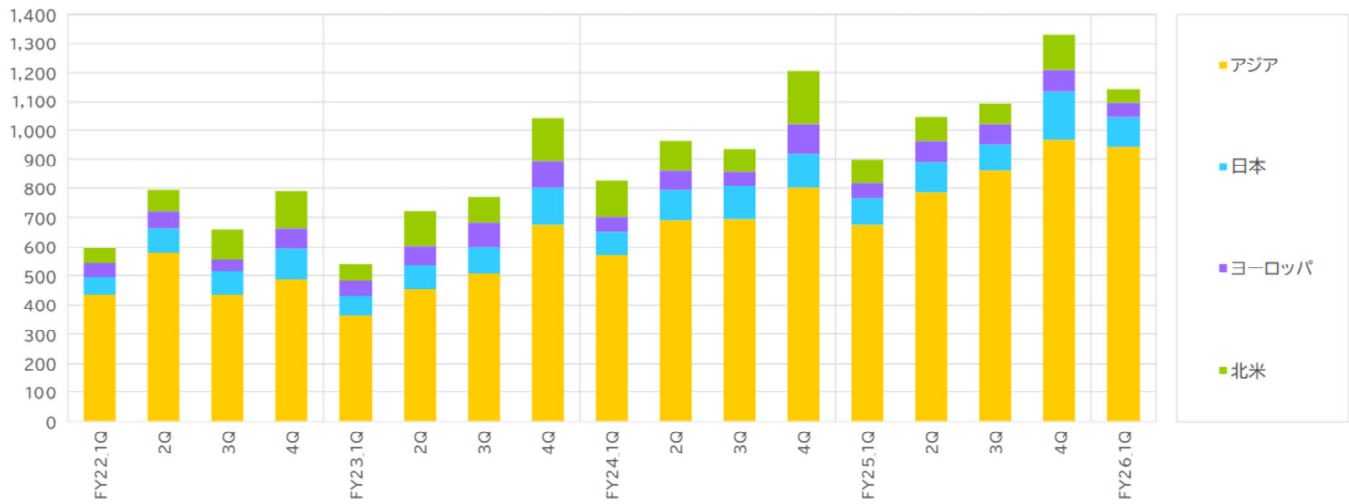
それ以外の「精密加工ツール」「部品」などの製品群は、従来と同じタイミングでの売上計上となっています。

地域別売上高 四半期推移

検収



(単位：億円)



FY26_1Q 海外売上高比率 90.8%

DISCO CORPORATION

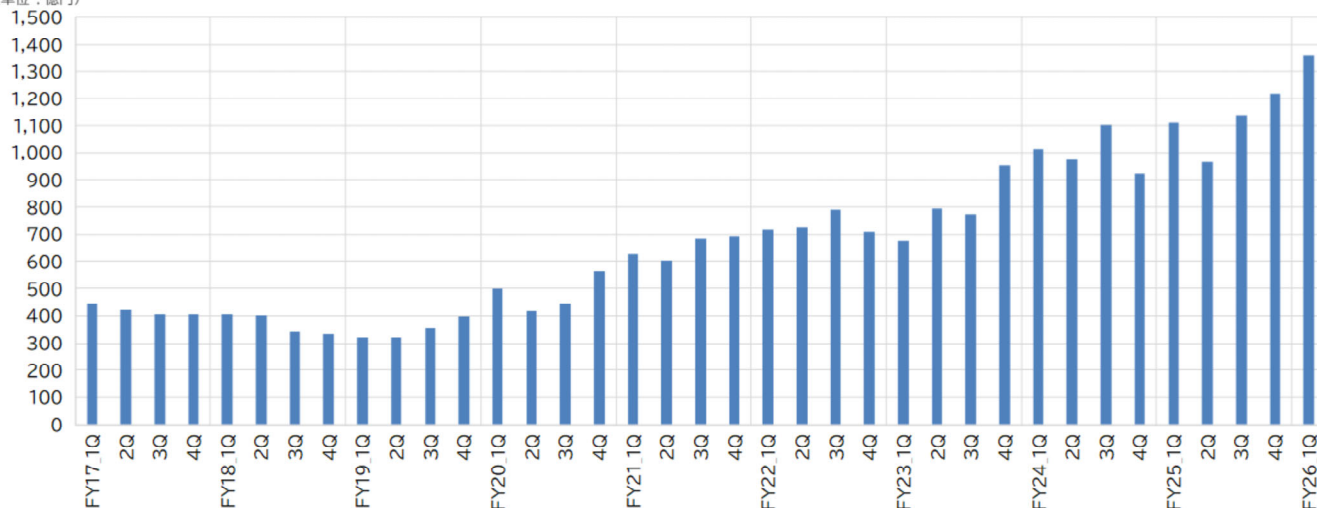
© 2025 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

地域別の売上推移です。こちらは参考としてご覧ください。

出荷額推移



(単位：億円)



FY26_1Q 出荷額 1,359億円 (過去最高)

DISCO CORPORATION

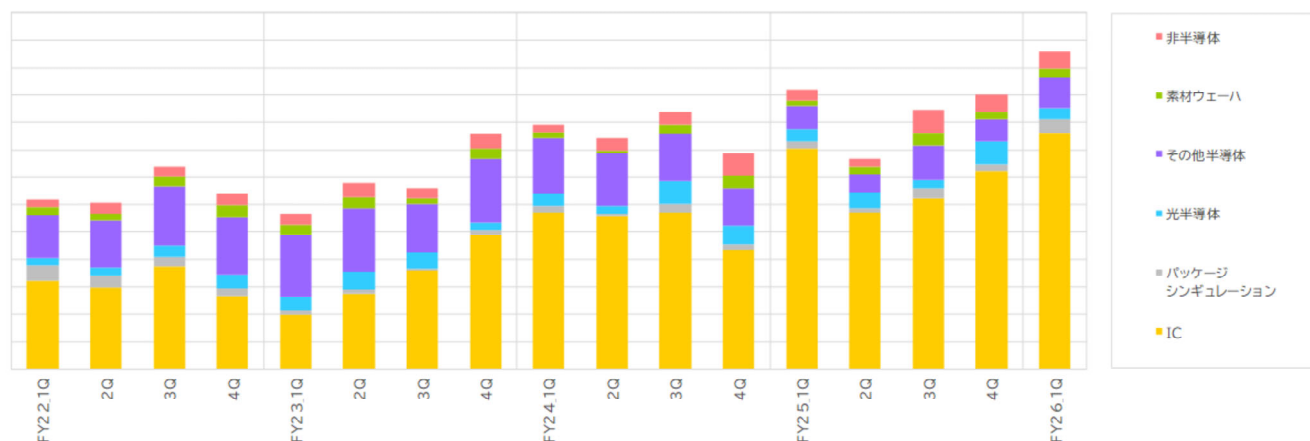
© 2025 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

市場との連動性が高い「出荷額」の四半期推移です。

4-6月期の出荷額は1,359億円となりました。

強い需要が続く生成AI向けに加え、OSAT向けが増加したことで装置出荷が伸長しました。

加えて顧客の設備稼働率などに連動して消耗品である精密加工ツールの出荷も増加したことで、四半期の出荷額としては過去最高を更新しました。



QoQ 生成AI向けを中心にIC向けが増加
YoY 生成AI向けの需要が継続し、IC向けが高水準維持

精密加工装置全体(ブレードダイサ、レーザソー、グラインダなど※)の用途別を「出荷額ベース」で記載しています。

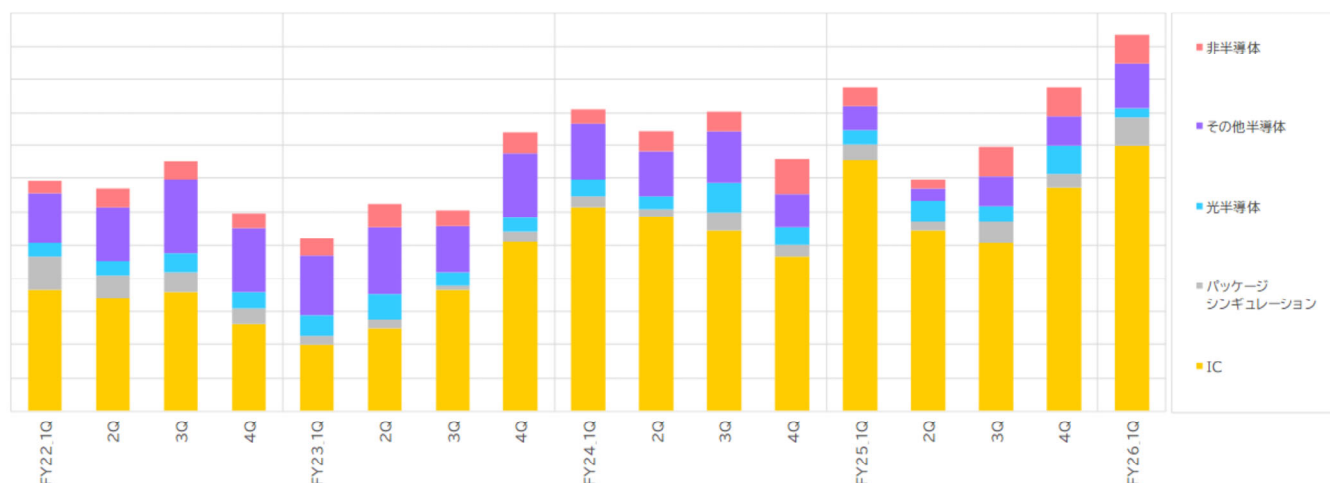
※用途別の分類が困難な周辺装置は除いています。

4-6月期 QoQ

IC:メモリ向けは生成AIのHBM向けを中心に増加しました。ロジック向けは生成AI向けを中心に高水準で推移しました。

光半導体:CMOSイメージセンサ向けが減少しました。

その他半導体:パワー半導体向けは、AIデータセンター向けなど、車載向け以外に用途が広がったことなどにより増加しました。



QoQ ICおよびその他半導体(主にパワー半導体)向けが増加
YoY 高水準のIC向けに加え、その他半導体(主にパワー半導体)向けが増加

精密加工装置の内、ダイサ(ブレードダイサ、レーザソー)の用途別を「出荷額ベース」で記載しています。

4-6月期 QoQ

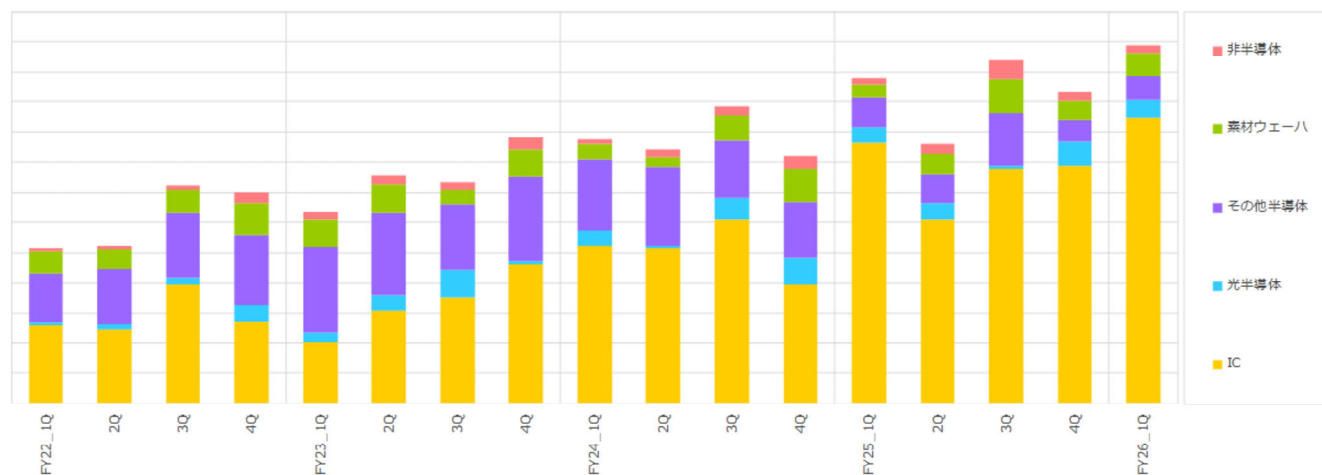
IC:メモリ向けは生成AIのHBM向けを中心に増加しました。ロジック向けはOSAT向けを中心に増加しました。

パッケージシンギュレーション:OSAT向けを中心に増加しました。

光半導体:CMOSイメージセンサ向けが減少しました。

その他半導体:パワー半導体向けは、AIデータセンター向けなど、車載向け以外に用途が広がったことなどにより増加しました。

なお、用途別の構成比の詳細データは資料後半に記載しています。



QoQ 生成AI向けを中心にIC向けが増加
YoY 生成AI向けの需要が継続し、IC向けが高水準維持

精密加工装置の内、グラインダの用途別を「出荷額ベース」で記載しています。

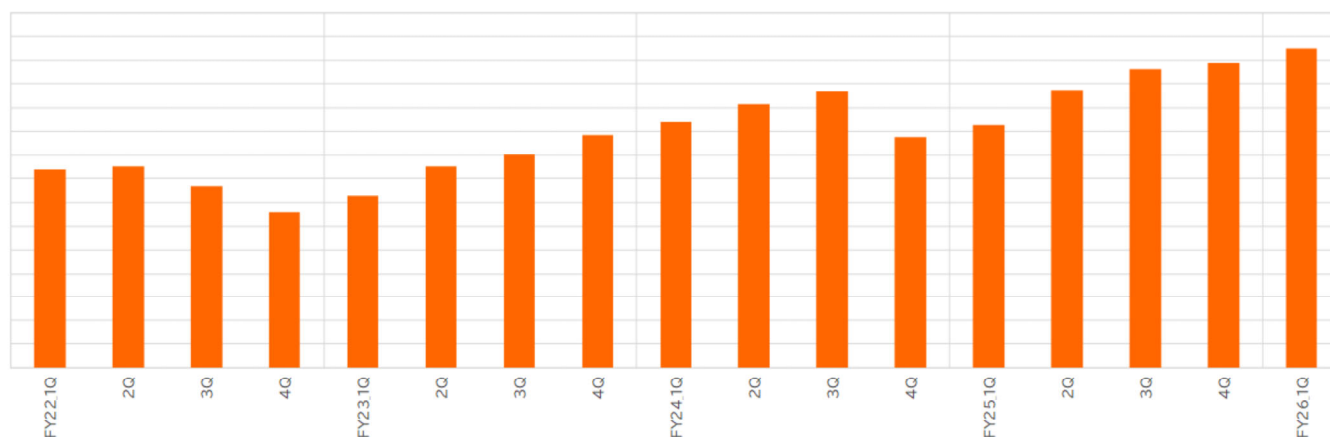
4-6月期 QoQ

IC：メモリ向けは生成AIのHBM向けを中心に増加しました。ロジック向けは生成AI向けを中心に高水準で推移しました。

光半導体：CMOSイメージセンサ向けが減少しました。

素材ウェーハ：日本、韓国向けを中心にウェーハメーカ向けが増加しました。

なお、用途別の構成比の詳細データは資料後半に記載しています。



顧客の設備稼働率や為替影響等により前年同期と比べ大幅に増加し過去最高を更新

消耗品である精密加工ツールの売上推移です。(出荷＝売上計上)

顧客の高い設備稼働率に連動し需要が旺盛だったことに加え、為替影響による押し上げもあり、前年同期と比べ大幅な増加となり、過去最高の出荷を記録しました。

今後の顧客の設備稼働率や最終製品の需要動向を注視しています。

為替レート

当四半期 4-6月期 USD:160.4円 EUR:186.0円

前四半期 1-3月期 USD:156.5円 EUR:183.5円

前年同期 4-6月期 USD:144.1円 EUR:165.5円

バランスシート(抜粋)

(単位:百万円)	FY2026 1Q	FY2025 4Q	差額
現金及び預金	283,892	284,575	-683
受取手形・売掛金	58,596	57,477	1,119
棚卸資産	152,953	141,325	11,628
流動資産	503,423	494,572	8,852
有形固定資産	223,925	223,241	684
固定資産	247,735	248,838	-1,103
総資産	751,159	743,410	7,749
流動負債	167,542	154,458	13,084
固定負債	1,093	826	267
負債合計	168,636	155,285	13,351
純資産	582,523	588,125	-5,602
負債純資産合計	751,159	743,410	7,749
自己資本比率	77.3%	78.9%	-1.6p

総資産：製品在庫(主に出荷済み未検収)を中心に棚卸資産が増加
 負債：契約負債(出荷時入金のものを含む)を中心に増加
 純資産：主に配当金支払いによる減少

バランスシートは、6月末と3月末を比較しております。
 ポイントはスライド記載の通りです。詳細は決算短信をご参照ください。

業績見通し



(単位:億円)

今回予想

	FY25 1Q	2Q	3Q	4Q	FY26 1Q	2Q
売上高	899	1,046	1,093	1,331	1,143	1,285
営業利益	345	444	473	588	490	559
経常利益	340	455	470	585	484	564
純利益	238	321	367	429	342	396
営業利益率	38.4%	42.4%	43.3%	44.2%	42.9%	43.5%
経常利益率	37.8%	43.5%	43.0%	44.0%	42.3%	43.9%
純利益率	26.5%	30.7%	33.6%	32.2%	29.9%	30.8%
出荷額	1,111	963	1,136	1,216	1,359	1,410

※億円未満 四捨五入

想定為替レート 2Q(7-9月期)
為替感応度(年換算)

US\$:159円
US\$:約19億円

Euro:182円
Euro:約1億円

DISCO CORPORATION

12

© 2025 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

業績の見通しです。当社は、顧客の投資意欲が短期間で激しく変動することから、需要予測が困難なため、従来(2018年)から業績予想開示は「1四半期先までの開示」としております。売上計上の基準は「検収時点」となっており、顧客の検収タイミングによって、業績が変動いたします。

今回は7-9月期の業績見通しを開示いたします。

引き続き堅調な出荷が続く想定のもと、前年同期と比べ増収増益を見込みます。

市場動向を表す出荷額は、四半期として過去最高額を見込んでおります。

引き続き生成AI関連の需要が強く、当社工場も繁盛状況が継続しております。

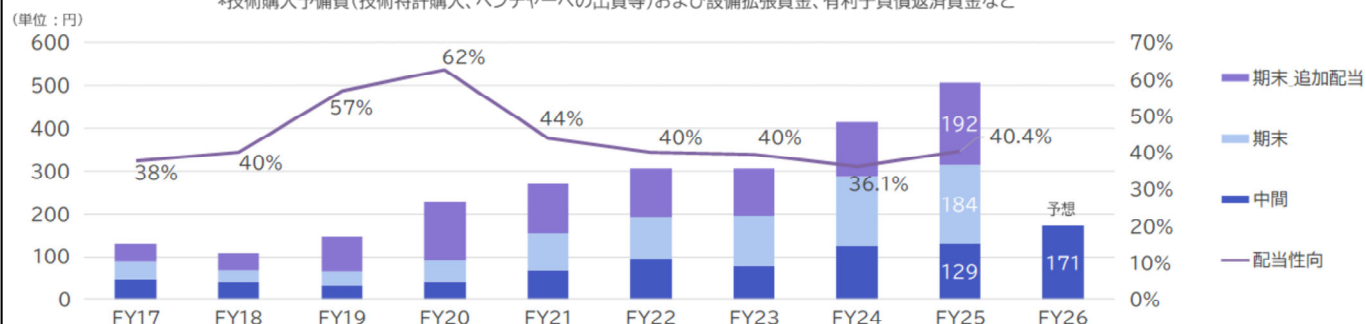
配当政策および配当額



【配当方針】

1. 期末、中間の年2回、連結半期純利益の25%を配当する
2. 安定配当として半期10円(年間20円)を維持。ただし3期連続で連結純損失の場合を除く
3. 年度末時点で赤字の場合を除き、配当及び法人税支払い後の現預金残高が予定必要資金額(*)を超過した場合は、上記1.に加え、超過金額の3分の1を目処に配当に上乗せする(追加配当)

*技術購入予備費(技術特許購入、ベンチャーへの出資等)および設備拡張資金、有利子負債返済資金など



FY26 予想 中間:171円 期末:未定

※2023年4月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施
(FY22以前の配当推移は当該株式分割が行われたと仮定して記載)

DISCO CORPORATION

13

© 2025 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

配当予想です。

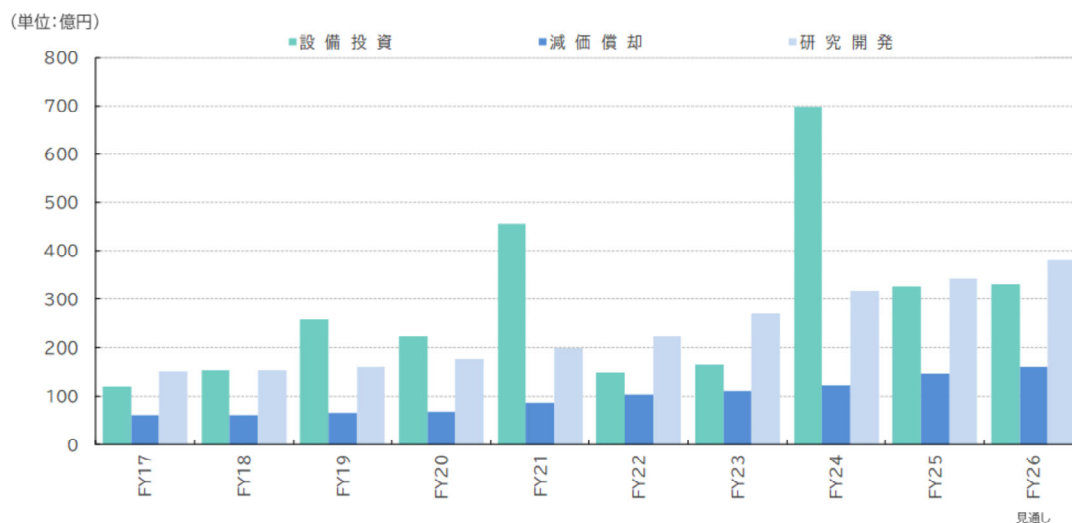
中間配当予想は上期業績予想に連動した配当性向25%にて計算しております。

現時点で中間配当は171円と予想しておりますが、実際の業績によって変動する場合がございます。

期末配当は現時点で未定です。

記載の通り、FY22以前の配当推移は株式分割が行われたと仮定して記載しております。

R&D/CAPEX 見通し



FY26見通し

設備投資:約330億円 合理化投資、羽田R&Dセンター建替、新工場建築を含む
 減価償却:約160億円
 研究開発:約380億円 積極的な研究開発活動を継続

DISCO CORPORATION

14

© 2025 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

研究開発や設備投資などの見通しです。

引き続き会社を強くするために必要な投資を積極的に行っていくため、今後も高水準の設備投資が継続する見込みです。

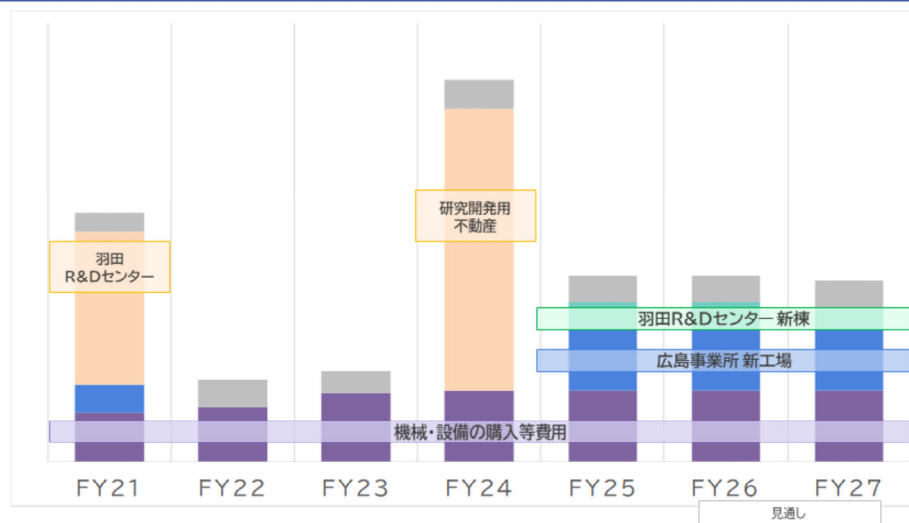
FY26見通しを若干修正しました。

設備投資:約330億円(変更無し)

減価償却:約160億円(従来 約150億円)

研究開発:約380億円(従来 約360億円)

CAPEX 内訳イメージ



羽田R&Dセンター 新棟
広島事業所 新工場

約140億円 支出時期: FY25~FY27
約330億円 支出時期: FY25~FY27

DISCO CORPORATION

10

© 2025 DISCO Corporation. All Rights Reserved.

こちらは、設備投資の内訳イメージです。
前回4月発表時点から大きな変更はありません

羽田R&Dセンター新棟や広島事業所新工場などの支出が続く予定で、機械・設備など合理化投資の金額と合わせて、年間300億円超の設備投資金額が継続する見通しです。

参考プレスリリース

「羽田R&Dセンター」新棟建設を決定(2023年10月19日)
<https://www.disco.co.jp/jp/news/corp/20231019.html>

広島事業所 郷原工場の建築を決定(2025年4月18日)
<https://www.disco.co.jp/jp/news/corp/20250418.html>

製品群		見通し FY26_2Q 増減率(QoQ)
	ブレードダイサ	20%
	レーザソー	0%
	ダイサ	10%
	グラインダ	10%
	周辺装置	20%
精密加工装置		10%
精密加工ツール		0%
その他		-20%

こちらは、製品群別、出荷額ベースでの見通しです。

2026年度7-9月期(FY26_2Q)の製品別出荷見込みを概算のQoQ増減率で示しています。
参考としてご覧ください。

ご参考 製品・用途・地域別 構成比

製品別(出荷額ベース)			
FY26 1Q			
項目	構成比	QoQ	YoY
精密加工装置合計	64%	15%	15%
内、ダイサ	33%	16%	16%
ブレードダイサ	17%	20%	18%
レーザー	16%	13%	14%
内、グラインダ	26%	15%	10%
内、周辺装置	4%	9%	51%
精密加工ツール	20%	6%	32%
その他	16%	5%	43%
出荷額合計	100%	12%	22%

用途別(出荷額ベース)	
FY26 1Q	
ダイサ	構成比
IC	70%
パッケージ・シミュレーション	8%
光半導体	3%
その他半導体	12%
非半導体	8%
グラインダ	構成比
IC	79%
光半導体	5%
その他半導体	7%
素材ウェーハ	7%
非半導体	2%

地域別(検収)	
FY26 1Q	
地域別	構成比
日本	9%
アメリカ	4%
アジア	82%
シンガポール	8%
台湾	34%
韓国	11%
中国 ※	27%
その他	3%
ヨーロッパ	4%
合計	100%
※外資メーカー現地工場向け含む	

ご参考 ディスコ株保有を検討される皆様へ

当社ではMissionの実現性の向上に取り組むことで、結果として企業価値の向上と競争力向上に繋がり、資本市場の皆さまの期待に応えることができると考えています

- ✓ 事業の質の追求
- ✓ 自己資金の活用と目的
- ✓ 株主還元方針
- ✓ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

上記の考え方について[詳しくはこちら](#)をご確認ください

ご参考 ディスコ株保有を検討される皆様へ

当社の考え方をご理解いただく一助として、ぜひご参照ください。

https://www.disco.co.jp/jp/ir/mginfo/msg_share.html

本資料について

掲載内容に関しては細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や第三者によるデータの改ざん等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本資料は投資勧誘を目的にしたものではありません。投資はご自身の判断において行われるようお願いいたします。

表記について

年間の会計期間である4月～翌年3月までをFY(Fiscal Year)と表記し、四半期の会計期間は4-6月を1Q、7-9月を2Q、10-12月を3Q、1-3月を4Qと表記しています。金額単位に応じて、単位未満の金額を四捨五入または切り捨て処理しており合計値が合わない場合があります。
%は実際の金額を基に算出しています。

将来の見通しに関する注意事項

この資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

英語圏の方々のために英語資料を提供する場合、和文(原文)と英訳の内容が相違した際は和文の内容が優先されます。

本資料の著作権は当社に帰属しており、無断での転載は禁じられています。私的使用その他法律によって明示的に認められる範囲を超えて、本資料を使用(複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、ライセンス、販売、出版等を含む)するためには、当社の事前の明示の許諾が必要です。

<https://www.disco.co.jp/>